

11月選抜

令和2年度 人間発達教育専攻  
学校心理・学校健康教育・発達支援コース 試験問題

受験番号

--	--	--	--	--	--

# 令和2年度 人間発達教育専攻 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 試験問題

## 問題 I

次ページの表は、文部科学省が我が国の平成29年度の小学校（表1）と中学校（表2）における不登校の要因を「本人に係る要因」と「学校、家庭に係る要因」から整理したものである。次の問い（問1，問2）に答えよ。

問1 表1および表2では、「本人に係る要因」については、不登校児童生徒全員につき、主たる要因を1つ選択し、「学校、家庭に係る要因」については、「本人に係る要因」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」からすべて選択した集計結果が示されている。次の問い（ア，イ）に答えよ。

ア 小学校における不登校の「本人に係る要因」で『「無気力」の傾向がある。』が選択された場合に、「学校、家庭に係る要因」で最も多く選択されているのは何か答えよ。

イ それが選択された割合（パーセンテージ）を示せ。

問2 小学校における不登校の要因の特徴を、中学校と比較して、具体的な割合（パーセンテージ）を示しながら記述せよ。



## 問題Ⅱ

次の文章を読み、下の問い（問1、問2）に答えよ。



問1 実験1を踏まえて、図3と図4から読み取れることを示せ。

問2 本研究の結果を踏まえて、他者の自分に対する良い評判と悪い評判を操作する幼児の行動について、成人と比較しながら考察せよ。

問題Ⅲ

次の英文を読み、下の問い（問1、問2）に答えよ。



問1 どのような領域の問題に関する効果的防止プログラムについて述べているか。全ての領域を列挙せよ。

問2 効果的なプログラムにはどのような特性が一貫して関連すると述べているか。全ての特性を列挙せよ。